

感染症発生動向調査

Infectious Diseases Weekly Report

2024年第3週 (1月15～21日)

(国立感染症研究所感染症疫学センター)

●全数報告の感染症 (1～5類感染症)

(今週の報告数/累積。累積は2024年第1週から)

疾患名	報告数	累積
【1類】		
(報告なし)		
【2類】		
結核	230	563
【3類】		
細菌性赤痢		2
腸管出血性大腸菌感染症	34	59
【4類】		
E型肝炎	17	28
A型肝炎	2	4
エムポックス ¹⁾		1
重症熱性血小板減少症候群		2
つつが虫病	14	36
デング熱	1	9
日本紅斑熱		1
マラリア	1	2
レジオネラ症	38	102
【5類】		
アmeerバ赤痢	5	16
ウイルス性肝炎	1	5
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 ²⁾	21	82
急性脳炎 ³⁾	11	31
クロイツフェルト・ヤコブ病	1	5
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	43	139
後天性免疫不全症候群	12	42
侵襲性インフルエンザ菌感染症	17	56
侵襲性髄膜炎菌感染症	3	5
侵襲性肺炎球菌感染症	50	202
水痘 (入院例に限る)	4	17
梅毒	184	499
播種性クリプトコックス症	3	8
破傷風		2
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3	7
百日咳	7	21

1) 2023年5月26日よりサル痘から感染症法上の名称が変更。2) 2023年5月26日よりカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症から感染症法上の名称が変更。3) ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

●定点把握の5類感染症

(「定点当たり」は報告数/定点医療機関数)

疾患名	報告数	定点当たり
インフルエンザ ⁴⁾	87318	17.72
新型コロナウイルス感染症	60268	12.23
RSウイルス感染症	238	0.08
咽頭結膜熱	4001	1.28
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	13382	4.28
感染性胃腸炎	23868	7.63
水痘	479	0.15
手足口病	547	0.17
伝染性紅斑	54	0.02
突発性発しん	655	0.21
ヘルパンギーナ	93	0.03
流行性耳下腺炎	100	0.03
急性出血性結膜炎	5	0.01
流行性角結膜炎	446	0.64
細菌性髄膜炎 ⁵⁾	9	0.02
無菌性髄膜炎	12	0.03
マイコプラズマ肺炎	36	0.08
クラミジア肺炎 ⁶⁾	1	0.00
感染性胃腸炎 (ロタウイルス) ⁷⁾	5	0.01
インフルエンザ (入院患者)	935	—
新型コロナウイルス感染症 (入院患者)	3462	—

4) 鳥インフルエンザおよび新型インフルエンザ等感染症を除く。5) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。6) オウム病を除く。7) 病原体がロタウイルスであるものに限る。

●定点把握の対象となる5類感染症

(前週からの定点当たりの増減と多い地域)

疾患名	増減	地域
インフルエンザ	▲	沖縄、宮崎、福岡
新型コロナウイルス感染症	▲	福島、茨城、愛知
RSウイルス感染症	▲	北海道、沖縄、福島
咽頭結膜熱	▼	北海道、鹿児島、福井
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	▲	富山、鳥取、山形
感染性胃腸炎	▲	宮崎、香川、大分
手足口病	▲	鹿児島、宮崎、群馬
伝染性紅斑	▼	福島、東京、神奈川
ヘルパンギーナ	▲	富山、愛媛、岩手、高知
流行性耳下腺炎	▲	岩手、鹿児島、沖縄
マイコプラズマ肺炎	▲	福井、岐阜、兵庫

◆A群溶血性レンサ球菌 (group A *Streptococcus* : GAS, *Streptococcus pyogenes*) による劇症型溶血性レンサ球菌感染症 (streptococcal toxic shock syndrome : STSS) の発生動向

GASによるSTSS症例は、過去6年間で2023年は2番目に報告数が多く、340例の報告 (最も多い年は、2019年415例) があった。23年7月以降、50歳未満を中心として報告数が増加した。